

金沢経営者友の会 三井新会長ら来訪

「幸せテーマに活動」

金沢市などの企業家らでつくる金沢PHP経営者友の会の三井敏彦会長(社会保険労務士山田事務所代表)と写真(左)と上田喜之副会長(清幸代表)と同(右)が二十一日、新任あいさつのため同市の中日新聞北陸本社を訪れた。

同会は異業種の三十〜七



十代の二十三人が所属し、毎月の例会で「経営の神様」と呼ばれたパナソニック創業者の故松下幸之助氏(一八九四〜一九八九年)の経営哲学を学んでいる。

会員最年長の前会長から今月にバトンを受けた最年少で三十八歳の三井会長は「『幸せ』をテーマに会社や社員、地域経済が元気になるような活動に取り組みたい」と抱負。二年間の任期中には、二〇一六年の会設立三十五周年事業の準備を含めて積極的に活動する考えを示した。(網信明)

他の新役員の皆さん。
会計担当 鈴木和代(NPO法人トオの家代表)▽
例会担当 杉俣真吾(杉俣コンクリート工業社長)

紙面構成・古市昌克